

令和7年度 東田中学校関係者評価 (行事の感想)

【入学式】

○式典参加は久しぶりでしたので、はじめて女子と男子の混合名簿に沿った順番を見ました。「女子」は「男子」の「後」ではない —

Hidden Curriculum の一つが消滅し、「大切な前進」であると思いました。

○初々しい新入生が担任の先生に名前を呼ばれ、元気よく返事している姿が印象的でした。新入生の後ろに座っている在校生がとても頼もしく見えました。

○初々しい中にも、少し前の小学生の雰囲気はなく立派な中学生だと感じました。期待と不安な子どもたちがどんな風に伸び伸び成長していくのかこれからが楽しみです。

○入学式、とてもよかったです。

新入生の初々しい姿とともに、2年前同じような姿のはずだった中3の生徒たちが最高学年として校歌を斉唱しここまで大きくなるんだなあとても感慨深かったです。

新しい生活を楽しく過ごしてほしいです。

【「SOSの出し方」講習会】

○中学校に入学し、心身ともに大きく成長するこの時期に講習会を実施し、命（自殺）について考えることは大変良いことで効果も大きいと思います。

印象に残っているのは、困ったときは躊躇せずに相談するよう指示していることで、特に周りに相談相手がないときはゲートキーパーに連絡するよう詳しく案内していたことは良かったと思います。ゲートキーパーは専門家なので、相談者の言い分を決して否定せず、聞くことができるので安心です。

この窓口への連絡方法は電話とメールがありますが、私の会社時代の経験では殆どがメールで電話での連絡は少なかったように記憶しています。電話での相談には抵抗があるのかもしれない。

命の重さについての研修（講習）は定期的に行うことでより効果的になると思います。

○講師の話し方は生徒にわかりやすかった。

演台がフロアにあったのは、生徒との距離を近づける工夫として良かったが、講師の方の背が低かったので、後ろの生徒には顔が見えず、集中力を欠く者が何

人かいた。そこに指揮台を使用した方が良いと思われた。

○一年生対象に、この時期のテーマは適時と思われる。

ワカバの曲を入れたのは良い工夫と思う。

体育館のクーラーはよく効いていたが、後ろまで生徒を入れると少し音がうるさいかなと感じた。

○講習はわかりやすくとてもよかったです。

特に歌の場面ではみんながじっと聞いてくれていることがわかり茶化すような子もおらず私も動画をみて涙が出そうでした。

あのような話を聞いていてにこにこ笑いながら隣の子に話しかけたりしている子はそこまで悩んでいない幸せな子なんだなあと感じました。中には真剣にじっと話を聞いている子もいてかえってそういう子は大丈夫かな？と心配になることもありました。

この企画は自分1人だけが悩んでいるのではないということを教えてあげられる良い機会だと思いました。

【運動会】(延期が重なったため、日程上、ミニ運動会として開催)

○誰よりも練習し本番を心待ちにしていたことでしょう。

短時間での競技の一つ一つに全力で取り組む生徒の姿に感動の思いで一杯になりました。東田中の生徒はどんな変化にも対応できる強きころもを持った一人一人に成長していることを改めて実感しました。

○今年は天候の不順で2度延期になり、お陰で日程が調整できて参加できました。時間は2時間に短縮され3競技でしたが、全体としては纏まっており整然と運営されていたように思います。

各競技では、最初の男女の混合リレーは、勝負というより全員が楽しく参加していたようでした。女子生徒のなかには男子生徒と互角もしくはそれ以上速く走る生徒もおり、見えて痛快でしたが、負けた男子生徒の気持ちは如何なものでしょうか。

次の縄跳びは全員の息が合っており、短い時間で良くここまで仕上げたものと感心しました。全員が協力し合って活動する良い訓練になると思います。

最後のリレーはお決まりの競技で代表選手が出場しただけあり、大いに盛り上がり、見ごたえ充分でした。

6月初めではありましたが、曇っていれば涼しく、日が出ると夏のような暑さで、何人かの生徒は頭から水を浴びてました。やはり、長時間にわたる場合はテントが必要なようです。今回は時間の短さを感じさせない中味のある運動会だったと思います。

【合唱コンクール】

○とにかく素晴らしかったです。

優勝したクラスもできなかったクラスも甲乙つけがたく声、態度全てが満点でした。

クラス紹介、どのクラスも様々な困難を乗り越えて当日を迎えたんだと聞く私達にもしっかり伝わってきました。ここまで支え励ましてくださった先生方にも感謝です。

そして何より会場から出てこられる保護者が真っ赤な目をされていたこと、本当に感動でした。感動をありがとうございました。

○合唱の練習で上手くいかないところを話し合い、より良くしようとしている姿が素晴らしかったです。練習の時よりも表情がいきいきとしていて素晴らし歌声に涙がでました。

○生徒の元気の良いこと、それを活かしたコンクールで、学年進行と共にその積み上げが東田中の文化としてしっかり定着してきたものと思いました。このことは昨年も同様に感じたことですが、年々1年生のレベルが向上し、発声がとても良く、後の2年間に大きな期待をもたせるものでした。今年の2年生はとてもハーモニーを大事にしていた印象が強く、3年生は聴衆に聴かせるための表現を工夫し力を入れていたように思いました。教員も生徒の連携も良く、全体の進行もスムーズでした。

校長先生のお話も生徒に親近感を持たせ、内容もわかり易かったと思います。

○自分たちの順番が来るまで緊張している姿、出番後の安堵した表情を見ると1つ1つの行事に全力で取り組んでいるんだなと感じました。

1年生の指揮者賞を獲った女の子が私の後ろに座っていて、自分の名前を呼ばれたときに「なんで私？ウソでしょ！？」とっていました。

周りの子どもたちが「ウソじゃないよ！だって堂々としていて指揮もすごく上手だったよ！」とみんなで声を掛けていたところがすごく印象的でした。

2年生の五十嵐くんのピアノ演奏には、男の子でもこんなにも繊細な音色でピアノを弾けるんだと感動して涙が出ました。

3年生は言うまでもなく、全員で歌う大地讃頌は素晴らしいものでした。1年生、2年生はこの3年生の姿を見てたくさんのことを感じてほしいと思います。

【道徳授業地区公開講座】

子ども達がICT機器を活用して授業に取り組む姿に感動した。また、戦争の紙芝居を真剣に聞き、涙をこらえる様子から、深く学び考えていることが伝わってきた。